

WaWくまもと構想の概要



WaWくまもとネットワーク

熊本県では「WaWくまもと構想」を推進し、くまもとに「歩く文化を創造する」ことを目指します。

【構想が生まれた背景】

- 人口減少や少子化、高齢化が進む中、地域文化や地域コミュニティの存続が危ぶまれています。
- 各地域ではありのままの資源や魅力的な町並みを活かしながら、地域自ら考え、行動していくことが求められています。
- 県内では歩く活動が盛んに行われており、これらの活動をネットワーク化し、継続的な活動につなげていく必要があります。

歩くことは新しい楽しみ方です。みんなで仲良く楽しく活動します。

1. 寄り道・道草しながら、みんなで歩き、地域の魅力を見つけます。
2. 守り育ててきた文化や景観に感謝し、住んでいる地域に誇りを持ちます。
3. その土地らしさは「ありのまま」です。飾らず無理せずできることから始めます。
4. 「ようこそ」という気持ちで迎え交流すると、双方に「ありがとう」の気持ちが芽生えます。
5. 生活空間の中で「歩いてもらう」「声をかける」「地域のことを話す」のは十分な「おもてなし」です。
6. 掃除が行き届いた風景は、歩く人に感動と喜びを与えることができます。
7. 地域に伝わる地名や地形、言い伝えなどを学びの場に活かします。
8. 歩くことで滞在時間が長くなれば、地域での消費活動につながる可能性があります。
9. 自分たちで楽しみながら、ゆっくりと活動を続けます。

[コーディネーター]

活動を広げていくためには、ネットワークを構築(つなぐ)し、新しい仕組みを作っていく「コーディネーター」が必要です。

1. 地域の「人」や「団体・組織」等とつながります。
2. 地域の施設、飲食店、商店、宿泊施設等とつながります。
3. 地域から飛び出し、他の地域の活動団体等とつながります。
4. それらをつなげ、歩く人に多様なコースや施設等を紹介します。
5. 多様な人たちと連携し、「歩く人を歓迎する」まちづくりに取り組みます。

[ガイド]

「歩き方」「楽しみ方」を一緒に歩いて伝える「ガイド」も大切です。

1. 地域の中で継承されてきた日常の文化や風景、ガイドブックには載っていない地域の物語を、自分なりの言葉で伝えます。
2. 歩いて出会う地域の人たちに声をかけ、歩く人とつなげます。
3. 「また来てね」「他にも(季節や場所)いいコースがあるよ」など紹介して、リピーターやファンを増やします。

歩く地域が増え裾野が広がることで、多様な連携が可能になります。

1. 「歩く人を歓迎する」まちづくり活動を広げるために、企業や大学、研究者など、多様なサポーターとつながります。
2. 「歩くこと」に関する商品の開発や、情報発信など、サポーターとともに、地域の可能性を広げます。